

[04_04]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1467977>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 4 (4), 1971-08-02. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

花文字の印刷について

※
武 谷 峻 一

LPシートに計算結果を印刷するとき、タイトルなどを花文字で印刷するサブルーチンLETTERを作りました。結果をそのまま整理、保存する場合などに御利用下さい。

(1) サブルーチンLETTERの使い方

使用方法はSSLと同じです。\$FORTRAN GOでは使えません。

機能 一行分の花文字を印刷する。

プログラム名 LETTER

使用言語 FORTRAN

使用語数 約 1,600語

呼び出し法 CALL LETTER (LF, LS, IS, IBW, N, IWRD, ILL)

パラメータ LF ……改行数。整数型変数または整定数。 $LF \geq 0$ 。

前回印刷した行の後に、LF行の空行を作って印刷を開始する。

ただし、頁の先頭では $LF + 1$ の空行ができる。

LS ……LPシートの左端からのスペース数。整数型変数または整定数。

$LS \geq 0$ 。

IS ……文字と文字の間のスペース数。整数型変数または整定数。 $IS \geq 0$ 。

IBW ……ブランクのスペース数。整数型変数または整定数。 $IBW \geq 0$ 。

N ……印刷する文字数。整数型変数または整定数。 $N \leq 16$ 。

IWRD ……印刷する一行分の文字系列。▼文字列▼、nH文字列または整数型配列名、配列要素名。16文字以内。

ILL ……サブルーチンから戻った時の状態がセットされる。整数型変数名。

0の時……正常完了。

nの時……IWRDの第n文字目が不適当な文字の場合。

20000の時…文字数が16を越えた場合。

30000の時…1行 136文字を越えて打った場合。

(2) 使用上の注意

- ① 打ち出すことのできる文字は、EXAMPLE 1 に示す英大文字、数字および特殊文字46文字です。
- ② 花文字の大きさは、原則として英字は7×7、数字および特殊文字は7×5ですが、例外として

英字のうち I は7×3、J は7×4

数字のうち 1 は7×2

特殊文字のうち (,) は7×4、', ·, ▼ は7×2

となっています。(EXAMPLE 1 参照)。

(3) LETTER の使用例

```
WRITE (6, 1)
```

```
1  FORMAT (1H0, 3X, ▼* □EXAMPLE □2 □* ▼)
```

```
CALL LETTER (2, 10, 2, 10, 12, ▼FACOM □230-60 ▼, ILL)
```

これにより打ち出した結果をEXAMPLE 2 に示します。

* □EXAMPLE □2 □* を出力したのち、2 行の空行を設け、LP シートの左端から10コのスペースをあけて打ち出します。文字と文字の間は2 コのスペース、ブランクは10コのスペースをとっています。

